



# 6月 愛知県 議会閉会



## ■平成26年6月定例愛知県議会閉会



完成近い新・市民病院を東南側(名鉄の反対側)から撮影しました。9月には市民の皆さんへのお披露目、11月4日開院です。

7月7日に閉会した愛知県議会6月定例会では、12月にトヨタから一般販売予定の燃料電池自動車(FCV)普及に向けて移動式水素ステーションの設置スペースの整備費5千8百万余円や議員報酬の抑制分5千6百万余円の減額などを含む8千2百万余円の一般会計補正予算、脱法ドラッグなどに対し罰則を新設する**薬物の濫用防止に関する条例の一部改正**や職員の配偶者同行休業に関する条例の制定、及び航空機産業の拠点(アジアNo1航空宇宙産業クラスター形成特区)としての用地の売り払いや公安委員会委員の選任等々の議案について審議し全会一致で可決・同意しました。

議会側からは、**南海トラフ巨大地震による津波・浸水対策の推進について、看護職員の確保対策の充実について**(以上民主提出)、**農業・農村の振興について、がん検診の実施体制の強化について**(以上自民)、**児童虐待防止対策の充実について、豚流行性下痢(PED)対策の充実について**(以上減税E+)、**世帯ごとのケアシステムの構築の推進について、災害時多目的船の導入について**(以上公明)の各意見書を全会一致で採択し、国へ送致しました。

## ■いなざわ特別支援学校記念式典

4月に開校した愛知県立いなざわ特別支援学校の開校記念式典が大村県知事、三浦県議会議長はじめ多数のご来賓をお迎えし行われました。一宮東と佐織特別支援学校(旧養護学校)の過大化を解消するため旧平和高校跡地に新設、小・中・高等部、48学級、267名の子ども達が学んでいます。

●7月9日 あいちエコチャレンジ21 県民運動の一つとして実施している**ストップ温暖化教室**が祖父江小学校(塩田校長先生)で行われました。講師は地元山崎の佐藤さん(環境カウンセラー)、難しいテーマを分かりやすく話され子供達も元気に手を挙げていました。



●7月12日 愛知県指定無形民俗文化財の**祖父江の虫送り**を見学させて頂きました。島本新田の虫送りを祖父江虫送り牧川実行委員会(吉村会長)の皆さんが後世に伝えるため地域の皆さんと取り組まれています。実盛人形は当代随一の大きさです。



# STEP 21 県政 REPORT



民主党県議団 **すずき純**

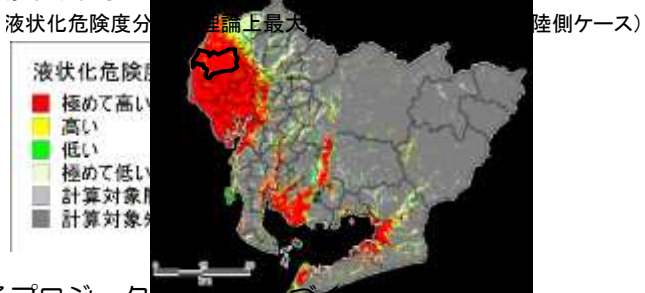
鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島 11-24 1407  
Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp



### ■防災・減災対策について

県民意識調査では、東海・東南海・南海の三連動地震などに「非常に関心がある」と回答した人は前回から13.5ポイント下がり、大震災前の水準に戻っている。防災ボランティア稲沢で名古屋大学に新設された減災館も見学したが、首都圏の防災施設と同様に、中部圏の中心であり、これからの地震災害が予測される本県に広く県民に向けた啓発施設が必要と考える。県の過去地震最大モデルの経済被害額が約13兆8600億円となることから、将来のリスクを軽減するために、防災啓発への投資を今、行うべきであるとの論点で、県民への防災意識の啓発について県の取組を質しました。県は今回の調査で示した耐震化などの対策に取組んだ場合の減災効果などをとくに、重点的な項目を第3次地震対策アクションプランに盛り込むとのことでした。

また、液状化による建物の全壊棟数が県内全体で16,000棟、西尾張地域はその半数を占めることから、液状化対策ポータルサイトを開設した東京都を例に県の取組を質し、パンフレットを作成する等の答弁を頂きました。



### ■こどもの笑顔が集まるプロジェクトについて

子ども達に厳しい時代だからこそ、子どもの笑顔が集まるプロジェクトを、ミナトの愛知、環境首都あいちに続く3本目の柱、こども王国あいちとして、世界へ発信へ。あいちトリエンナーレでは、愛知の特徴的なキッズトリエンナーレが好評を博しており、この拡充を図り2020年にはオリンピックをテーマにしたキッズ特別展などを開催することも考えられるという論点で、こどもの笑顔があつまるキッズトリエンナーレの今後の方向性について県の取組を質しましたが、成長させていきたいという答弁に留まりました。また、愛知のものづくりを活かした体験型のわくわく産業観光については、産業観光スタンプラリーなどの答弁を頂きました。

### ■献血運動の推進について

日本赤十字社が実施した血液需要将来推計シミュレーションは、現在の献血率のまま少子高齢化が進展すると、需要がピークを迎える2027年には、献血者約101万人分の血液が不足すると予測。また、若年層の献血離れが著しく、1985年に比べ2012年では16～19歳の献血者は5分の1以下、20歳代の献血者も5分の2以下に減少。7月10日に開催される第50回献血運動推進全国大会を受け、将来の献血を支える若い世代に対する県の取組を質しましたが、48年振りとなる全国大会で若い世代の体験発表などを行い献血離れに歯止めをかけたいと答弁を頂きました。

献血の質問は民主党県連第9区総支部の自治体議員勉強会で訪れた日赤血液センターで観たDVDがきっかけです。以下はお母さんが献血ルームの落書き帳に綴った手記です。

**私の4歳の長男は小児ガンです。**  
 10ヶ月の闘病生活の末、亡くなってしまいました。その間、皆様の献血のおかげで安心して治療を受ける事ができました。本当にありがとうございます。

**あの子は輸血されると元気になる事を知っています。**  
 『アンパンマンのエキスだ〜』と言っていました。献血キャラクターけんけつちゃん一時は毎日のように輸血させて頂きました。輸血が必要な時『今 足りないので待っていてください言われ 祈るような想いで待っていた事もありました。届いたときは、本当に嬉しかったです。献血して頂きました皆様になんてお礼を言ったらいいの。ありがとうございます！ ありがとうございます！ 医療スタッフと皆様のおかげで生きながらえる事ができてどんなに『ありがとうございます』と言っても足りません。今でも病院では、多くの子供たちが輸血を待っています。これからも献血をお願いします。もちろん私も来ます。子供たちの笑顔が消えませんがと祈っています。ブログでは「ありがとうございます！ っていう言い言わせて(アンパンマンのエキス)」というタイトルがつけられています。

### ■県政報告街宣 in 国府宮駅



4年目に入る県議会閉会日の民主党県議団としての県政報告街宣を、市議会市民クラブの皆さんにも協力頂き国府宮駅で実施しました。

# STEP21

イベント



●いなざわ防災セミナーでレスキューストックヤードの栗田暢之氏講演

- 5日サマーフェスタへいわ
- 5日稲沢市老人芸能大会
- 9日県消防操法大会(第6分団出場)
- 15日そぶえ夏まつり

稲沢西小学校前身の稲沢尋常小学校



史のある小学校ですが市内で唯一耐震改修が残っていました。地域のご理解・協力のおかげで昨年度の屋内運動場に続き校舎改築の起工式を迎えました。子ども達の **未来へつづくまちづくり**へ 一生懸命動きます。 愛知県議会議員 **鈴木じゅん**